

# 病院勤務医の職務満足度の実態と 「働き方改革」の意識調査へご協力ください

平素より先生方にはご支援賜り深謝申し上げます。現在、医療の高度化や、医師不足などから勤務医の疲弊はピークにあり、医師の職務満足度の低下が引き起こされています。海外では職務満足度の低下は医師の離職やバーンアウトのみならず、医療の質低下を引き起こす可能性が示唆されていますが、国内では医師の職務満足に関する研究は乏しく、国内での現状は明らかになっておりません。一方、医師の働き方改革　そこで、医師職務満足の実態とそれに寄与する因子、さらに病院経営の指標(患者数、平均在院日数、医療圏シェアなど)に及ぼす影響などを明らかにするため本研究を立案しました。

本研究では京都大学の小崎先生ら (Ozaki M, et al. Development of the Japan Hospital Physician Satisfaction Scale. Int J Health Care Qual Assur. 2008;21:517-28.) が開発した調査票 (NPO 法人健康医療評価研究機構に使用許諾を頂いております) を用いて病院勤務医師を対象として、職務満足度と働き方改革に関する意識調査を行います。大変お手数ですが、別紙の質問票に回答頂けますと幸いです。(解答時間は 10-15 分程度です)

なお、本研究で得た個人情報は外部に漏れることないよう管理し、病院名や医師個人名を公表することは一切ありませんので、何卒宜しく申し上げます。

先生方には大変ご多忙のところ恐縮しますが、本調査にご協力頂きますようお願い申し上げます。なお、不明な点が御座いましたら下記へご連絡頂きますようお願い申し上げます。

2018年5月24日  
愛知医科大学 肝胆膵内科  
特任准教授  
角田圭雄

(すみだよしお)

TEL: 0561-62-3311  
FAX:0561-62-1508  
E-mail sumida@koto.kpu-m.ac.jp

## 医師の職務満足と働き方改革に関する意識調査

### 《調査目的》

このアンケートは、病院勤務医の職務満足の実態と「働き方改革」に関する意識を調査し、病院勤務医のより良い「働き方改革」を実現するために実施するものです。匿名式となっており、回答者のプライバシーを特定するような項目はありません。病院名は記載頂きますが、一切公表しません。いただいた回答はアンケートの目的以外には一切使用いたしませんので、率直なご意見をお聞かせください。

2018年5月24日  
愛知医科大学 肝胆膵内科  
特任准教授  
角田圭雄

設問A 下記の医師の職務満足調査（京都大学小崎らが米国内科学会の職務満足尺度をもとに開発）にご記入ください。

以下は、あなたが働く中で、日々どのように感じているかについての質問です。

最もあてはまるものを一つだけ選んで下さい。

	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	非常にそう思う
1) 今の臨床の仕事は個人的にやりがいがあると 感じている。	1	2	3	4	5
2) 自分にかかってくる患者や病院からの呼び出し は過度ではない。	1	2	3	4	5
3) 事務仕事は私にとって負担になっている。	1	2	3	4	5
4) 同僚の医師たちは私の職業意識を良い意味で 刺激してくれる。	1	2	3	4	5
5) 患者からの要望には閉口させられる。	1	2	3	4	5
6) おおむね私は仕事を楽しんでいる。	1	2	3	4	5
7) 私と私の家族は自分が働いている地域と強い 絆で結ばれている。	1	2	3	4	5
8) やらなければいけないペーパーワークが 多すぎる。	1	2	3	4	5
9) 結局のところ、医師としての自分のキャリアに は満足している。	1	2	3	4	5
10) 同僚の医師たちは診療面での私の考えを評価し てくれている。	1	2	3	4	5
11) 多くの患者が基本的には必要のない治療を求め てくる。	1	2	3	4	5
12) 私は自分の患者と強い絆で結ばれている。	1	2	3	4	5
13) おおむね私は現在の仕事の状況に満足している。	1	2	3	4	5
14) 時間の制約のために一人の患者に十分時間をか けることが出来ない。	1	2	3	4	5

(前ページから続き)

非常にそう思う  
そう思う  
どちらともいえない  
そうは思わない  
全くそうは思わない

15) 同僚の医師たちは私にとって大切な支えとなっている。	1 …… 2 …… 3 …… 4 …… 5
16) 自分がしてきたトレーニングや経験からすれば十分な収入は得ていない。	1 …… 2 …… 3 …… 4 …… 5
17) コメディカルスタッフの職務能力は満足のいくものである。	1 …… 2 …… 3 …… 4 …… 5
18) 私は自分が診療している地域に根をおろしていると感じる。	1 …… 2 …… 3 …… 4 …… 5
19) 私の医師としてのキャリアはおおむね期待したとおりであった。	1 …… 2 …… 3 …… 4 …… 5
20) 対応が難しいと感じる患者が以前より増えた。	1 …… 2 …… 3 …… 4 …… 5
21) 仕事のためプライベートにしわ寄せがきているのが問題だ。	1 …… 2 …… 3 …… 4 …… 5
22) 私の収入全体の額は、仕事量と釣り合っている。	1 …… 2 …… 3 …… 4 …… 5
23) 現在の仕事の状況は私の欲求不満の大きな原因になっている。	1 …… 2 …… 3 …… 4 …… 5
24) 私は同僚の医師達とうまくやっている。	1 …… 2 …… 3 …… 4 …… 5
25) コメディカルスタッフは医師に対してあまり協力的ではない。	1 …… 2 …… 3 …… 4 …… 5
26) 他科の医師に比べて十分な収入を得ていない。	1 …… 2 …… 3 …… 4 …… 5
27) 現在の職場の仕事は自分の期待していたものとは異なる。	1 …… 2 …… 3 …… 4 …… 5
28) コメディカルスタッフは私にとって大切な支えとなっている。	1 …… 2 …… 3 …… 4 …… 5

設問 **B** 医師の働き方改革に関して、あなたは以下の項目をどのように感じておられますか。1～4のうち、最もあてはまる数字1つに○印を記入してください。

質問項目	全くそう思わない	そう思わない	そう思う	非常にそう思う
1. 労働時間の短縮である。	1	2	3	4
2. 報酬の増加である。	1	2	3	4
3. 家族と過ごす時間の確保である。	1	2	3	4
4. 宿日直業務（時間外業務）を減少させることである。	1	2	3	4
5. 複数主治医性の導入である。	1	2	3	4
6. 患者との良好な関係を構築できるシステム形成である。	1	2	3	4
7. 自己研鑽に活用できる時間の確保である。	1	2	3	4
8. 女性医師の労働環境の整備である。	1	2	3	4
9. 医師事務作業補助者の活用による医師の生産性の向上である。	1	2	3	4
10. 電子カルテやIoTなどの情報技術（ICT）の活用である。	1	2	3	4
11. 書類作成業務の縮小である。	1	2	3	4
12. 学会や研究会への参加を奨励、サポートすることである。	1	2	3	4
13. 成果主義に基づく経済的インセンティブの付与である。	1	2	3	4
14. 最新の医療機器の導入や治験の獲得など医療レベルの向上である。	1	2	3	4
15. 職務内容を自律的に決定できることである。	1	2	3	4
16. 労働時間をフレックスタイム制やシフト制にすることである。	1	2	3	4
17. 専門医などの資格取得のサポートシステムである。	1	2	3	4
18. 医師のブランド化を戦略的にサポートすることである。	1	2	3	4
19. 医療の不確実性を患者に認識してもらい啓発活動である。	1	2	3	4
20. 同僚と良好な関係を構築できる環境の提供である。	1	2	3	4
21. 留学支援制度やキャリアサポートシステムを構築することである。	1	2	3	4
22. 勤務医師の健康状態（肉体、精神）に配慮することである。	1	2	3	4
23. 他職種へのタスクシフティング（業務移管）である。	1	2	3	4
24. かかりつけ医や他医療機関など地域における連携の強化である。	1	2	3	4
25. 産業医を含めた職務に関する相談窓口の活用である。	1	2	3	4

上記の中で特に重要と思う項目を三つ選択して、番号を記入してください。

1位：（ ）

2位：（ ）

3位：（ ）

\*病院勤務医の働き方改革についてご意見がありましたら下記に自由に記述下さい。

